

みらい	8	→	7	みらい
輝	5		7	政新クラブ
創風	6		6	久比岐野 (新人1含む)
市民クラブ	2		5	創風
公明党	2		2	公明党
会派属さず	1		1	会派属さず
会派属さず	1		1	議長
会派属さず	1		1	議長
会派属さず	1		1	議長
議長	1		1	議長
日本共産党 議員団	3		3	日本共産党 議員団
合計	31		合計	32

市長選の影響？ 市議会会派が大変動

会派に属さない議員は一人に
 このほど市議会の各会派に大きな変動がありました。
 左の図の通り、かなり大きく、かつ複雑な再編で、まるでシャッフルしたようです。
 市議会議員選挙から2年たった段階で1つの節目として再編されることもあります。通常はそれ以外の時期に大きな再編が行われることはまずありません。今回は市長選への姿勢とその結果を受けての再編ではないかとも言われています。

保倉川放水路 建設予定地付近を視察

市議会の保倉川放水路整備促進議員連盟（全議員が所属）は12日、保倉川放水路の建設予定地付近を現地視察しました。

同放水路は、保倉川下流の洪水被害を防ぐための手段として建設が計画されており、今年3月に行われた第21回関川流域委員会で大まかなルートが示され、今後さらに具体的な検討が進められることになっていきます。

この大まかなルートは、頸城区下三分一付近で保倉川から分岐し、上越火力発電所東側で海に放流するルートです。今のところ、幅約200mの概略ルートが示されている段階です。

で、実際に建設される幅や深さなどは、今後の検討に委ねられています。

今回の視察では、下三分一の建設予定地付近と火力発電所近くの放流地付近を実際に訪れ、放水路のイメージをつかみました。

なお、視察では1995年の7・11水害を機に整備された頸城区の森本橋下流の遊水池も訪れ、保倉川の流量が増した際に下流の流量を緩和する施設を見学しました。約40万m³の貯水量があるとこのことですが、本格的な雨では約2時間満水になり、調節機能には限りがあるとのことでした。



県が進める「地域医療構想実現に向けた今後の方向性」 その問題点 ⑨

これまで各地で起こっている問題点を列挙してきましたが、こうしたことを引き起こしている花角知事の基本的な姿勢についてまとめると、次のようになります。

- ① 県立病院の設立の精神は、「県民がどこに住んでも医療が受けられる体制を県の責任で構築する」ということですが、その観点が全くなく、病院経営の効率化と県の財政負担を軽くすることだけを目的とする姿勢です。
- ② 新型コロナウイルス感染症で明らかになったのは、県内の医療体制のぜい

弱さです。現在の最優先課題は、県民一人当たりのICU（集中治療）病床や医師充足率が全国最低である現状を、国とともに緊急に改善することです。ところが、実際にはそれとは逆に病院の統廃合や病床削減に血眼になっています。

- ③ 高齢患者が圏域外や県外で受診せざるを得ない現状に対して、問題意識や打開策が見られません。受診抑制の有無や、流出の理由を把握しようとしていません。

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.729 2021年11月21日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症発生状況
 (11月12日現在)

PCR検査実施件数 17,285件(前週+127)
 管内陽性件数 342件(前週と同)
 上越市内陽性件数 305件(前週と同)
 陽性率 1.979%(前週1.993%)